

2014年3月5日(水曜日)の**日刊工業新聞**で 「日本で一番大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞に弊社が選ばれました。

「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞

第4回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞は自薦、他薦を合わせて28社の応募があり、書類審査・現地調査を経て、7社が入賞した。過去5年以上にわたって①人員整理をしていない②障害者雇用は法定雇用率以上③など5項目を満たしていることが応募条件。入賞企業の評価点を紹介する。(1面参照)

入賞企業の評価点紹介

【経済産業大臣賞】
該当なし

【中小企業庁長官賞】

沢根スプリング(浜松市南区)1966年の創業以来、47期連続して黒字経営を続けるパネおよび関連製品メーカー。従業員1人当たりの時間外労働は月間6時間未満と極端に少ない。社員の士気は極めて高く、業績も業界平均をはるかに上回っている。

【実行委員長賞】

LFCC(岐阜県本巣市)もともとはアパレル企業の物流部門だったが、03年の分社以降、他社の物流請負や通販事業に乗りだし、業容を拡大した。「社員が幸せになる会社」を目標に掲げる。従業員の2割以上が60歳以上で、障害者も10人雇用する。

【審査委員会特別賞】

パン・アキモト(栃木県那

須塩原市)阪神大震災を機に開発した「パンの缶詰」は、従来の災害時用保存食の常識を破るおいしさで、東日本大震災時にも活躍。企業向けに販売した備蓄用パンを2年後に買い取り、途上国に寄付する取り組みも実践している。

千葉オイレッシュ(千葉県君津市)従来は焼却処分されていた処理困難な廃油の再生技術を確立し、ボイラ燃料として販売する。「バランス良く発展する会社であろう」を経営理念に掲げ、社員の幸せ感を共有しながら発展する会社を目指す。

ルバンシユ(石川県能美市)化粧品・医薬部外品メーカー。1人当たり納税額・経常利益などの経営指標の公開や、社長信認選挙などを実施し、明るい職場づくりに取り組み。東日本大震災の際は「水のいらぬいシャンプー」を短期間で開発、被災地に提供した。

須山木材(島根県出雲市)木材・建材販売企業。CAD・CAMプレカットシステムの早期導入により売上高経常利益率5%超を継続する。一方で、高齢者を積極的に雇用し、林業にありがちな重労働の軽減に取り組んでいる。

宇佐ランタン(大分県宇佐市)国内トップクラスの年間25万個を生産する提灯メーカー。98年に知的障害者5人を雇用したの機に、製造工程の分業化、自動化機械の導入を進め、健常者と同等の作業効率を実現した。現在は従業員13人中8人が障害者。